

新時代のお遊び場

子どもを取り巻くあらゆる場所に


011 Residences
パークタワー東戸塚
ニューシティ東戸塚
タワーズシティ

 クライアント：
 三井不動産株式会社
 所在地：神奈川県横浜市
 設置：2005年12月
 面積：90㎡

マンション住人専用のお遊び場というセミパブリック空間の特性を活かし、親のコミュニティスペースにもなるよう提案。屋内に映えるカラフルな仏・ウェスコ社のウレタン性ジムキット（下）や独・ベカ社（左上）の優しい色合いの木製遊具などをバランスよく配置。運動やごっこ遊びの中で、体力・知力のみならずマンション内での世代の異なる子どもの友情や協調性のこころも育める空間が作られている。



お遊び場が生み出す魅力の一つは、年齢を問わずコミュニケーションを円滑にしてくれること。「パークタワー東戸塚」のキッズルームは、子どもたちにとっては思い切り走り回れる楽しいお遊び場であり、同時に母親同士が楽しく集える寄り合いの場でもあります。コミュニケーションが希薄になりがちな集合住宅に、新たな接点を作り出してくれるのです。その親密な関係作りに一役買っているのが、お遊びのゾーニングやデザイン。厳選された多彩な遊具を効果的に配していくノウハウが年代に関係なく対話できる空間を作り出し、お遊び場に集う人々の距離を自然に縮める働きをしてくれるわけです。また、「カフェモンブラン」や「ネットヨタ」は、少子化が進み子ども中心のライフスタイルが定着しつつある中で、「お遊び」をコンセプトとした、大人と子どもがともにくつろぎ楽しめるような居場所づくりの好例と言えるでしょう。社会状況も考慮した発想を持つことによって、お遊び場の可能性は無限に広がります。

011-013


012 Car Dealers
ネットヨタ兵庫
 加古川別府店キッズルーム（下）
 西神中央店キッズコーナー（左）

 クライアント：
 ネットヨタ兵庫株式会社
 所在地：兵庫県加古川市 / 神戸市

「大人も子どもも気軽に集える、地域に開かれたカーディーラー」という要望から提案。キッズルーム（下）にはオリジナルで制作したカラフルな家具、子どもの集中力を高める蘭・ジョイトーイ社のルーピングなどデザイン性の高い遊具を取り入れた。一方キッズコーナー（左）は施設にだけ込むようなオープンスペースとし、大人も子どももくつろげるお遊びのギャラリースペースが完成した。


013 Cafés

 クライアント：篠塚龍（オーナー）
 所在地：大阪府堺市
 設置：2005年5月
 面積：110㎡

カフェ モンブラン

ポーネルンドが環境プロデュースした個人経営の喫茶店。「子どもと保護者がともに楽しめるカフェを」という依頼から、さまざまなお遊びの要素を効果的に施した。抗菌砂の使用や水場を併設することで衛生に考慮した「動のお遊び」、コーナー保育を参考に木製遊具などで手先を使い情動的なお遊びを促す「静のお遊び」のコーナーを配置。どちらも喫茶席から見渡せ、保護者の安心感や満足度も高い。


インタビュー パークタワー東戸塚 プロジェクト担当 三井不動産レジデンシャル株式会社 稲田信行氏

このマンションには最初からキッズルームを作る計画はありましたが、当初は大人の目線からみたデザインでした。そんなこれまでの既成概念を打ち破る、子どもたちが本当に喜んでくれるキッズルームづくりに試行錯誤していた時、巡り会ったのがポーネルンド。私も一児の父親であり、子育てを通して「子どもが喜ぶものってこんなものなのか」、「こういうことが危険なのか」と学習していましたから、ポーネルンドの「子どもに対して本当に良いものを提供する」という企業姿勢がよく理解できるようになりました。

この閃きを活かして、ポーネルンドにマンションのお遊び場をプロデュースしてもらうことにしました。「子どもにとって本当に居心地の良い空間」というコンセプトでお願いしたところ、出来上がってきたのは、私たちが今まで見たことがないような斬新なプラン。色彩にも遊具にも、子どもだからと手を抜いた部分が一切ない。

もちろん安全にもきちんと配慮がなされている。子どもが楽しく遊ぶ様子が目に浮かぶようで、これがお遊びのプロが子ども目線で作るお遊び場かと驚きました。セミパブリックのマンションという環境では難しい、飛んだり跳ねたりといった身体を動かすお遊びも兼ねることなくできます。また、親御さん同士のコミュニケーションを育む場としての視点もプランにしっかりと含まれていて、実際、大規模集合住宅にありがちな家族同士の距離感やコミュニティの希薄さを、このキッズルームがずいぶん和らげてくれているようです。今も入園前のお子さんや親御さんが特によく集まっておられるとか…。このプロジェクトは新しい取り組みでしたが、お客様の必要とするものを形にしたいと考えている私たちには、大成功だったと思っています。


ポーネルンドの歩み

- 1979 (株) コンパブレイスケープ設立
- 1981 (株) ポーネルンド設立
- 1986 ポーネルンドショップ直営第一号店 大阪心斎橋にオープン
- 1994 ポーネルンド通信誌創刊
- 1997 「お遊びの価値と環境デザイン展」開催（東京）大阪展は99年開催
- 2000 「ユニバーサルプレイシングの本」発行
- 2001 ポーネルンド本店（フラッグシップショップ一号店）神宮前にオープン
本社を現地に移転
- 2002 ポーネルンド通信誌を「お遊びのもり」としてリニューアル創刊
お遊びのせかい（北九州市）オープン（2004年3月まで）
- 2003 NAFA 子育て環境支援センター（NPO）設立（子ども保育環境研究所と協働）
- 2004 25周年事業 記念写真集「地球はこどものお遊び場だ・・・」（世界文化社刊）発行
ポーネルンドお遊びのせかい一号店オープン（横浜・みなとみらい）
- 2005 ポーネルンドお遊びのせかい新神戸店オープン
- 2006 お遊び文化の情報誌「ブレイスケープ ポーネルンド世界のあそび環境の本」創刊
ポーネルンドお遊びのせかい京都 BAL店オープン

株式会社ポーネルンド
本社
 〒150-0001
 東京都渋谷区神宮前 1-3-12
 TEL:03-5785-0860
 FAX:03-5785-0861

営業所
 札幌・名古屋・大阪・福岡

発行：2006年9月4日 実績写真：中西あゆみ

<http://www.bornelund.co.jp>
 e-mail info@bornelund.co.jp

株式会社コンパブレイスケープ
 〒150-0001
 東京都渋谷区神宮前 1-3-12
 TEL:03-5785-0862
 FAX:03-5785-0863
<http://www.kompan.co.jp>



KOMPAN PLAYSCAPE

あそびと教育



ポーネルンド